

授業科目(ナンバリング)	日本語コミュニケーションB (CB205)			担当教員	佐野 香織		
展開方法	講義	単位数	2単位	開講年次・時期	2年・後期	必修・選択	選択
授業のねらい							アクティブ・ラーニングの類型
<p>本講義は、日本語教員養成課程の履修者の必修科目であり、「言語と社会」「言葉のしくみ」研究分野のうち、日本語を対象とした「社会言語学」の基礎について学ぶ。</p> <p>本講義は、現代日本社会のさまざまな「日本語」を考察する。そして、出身地、地域、性差、状況等によって言葉が多様に使われていることを学んでいく。受講者一人一人が、現実に使われる日本語を通して、自分の言葉を問い直し、自分と社会、日本語教育との関係を考えることができるようになることを目標とする。</p>							②④⑩
ホスピタリティを構成する能力	学生の授業における到達目標				評価手段・方法	評価比率	
専門力							
情報収集、分析力							
コミュニケーション力	社会言語学の基礎を理解し、意見交換ができる。				課題	40%	
協働・課題解決力	課題遂行を通して、協働で学び合うことができる。				活動	20%	
多様性理解力	社会における言葉の働きを理解する。				レポート	40%	
出席					受験要件		
合計					100%		
評価基準及び評価手段・方法の補足説明							
日本語の分析に関する課題の提出物で40%、活動で20%、レポートで40%、評価する。提出物に関しては、翌週の授業内容に反映させる。活動も授業中にフィードバックを行う。							
授業の概要							
日本語を社会言語学の観点から分析し、さまざまな日本語と日本語教育とのかかわりや、社会と言葉の関係について考える視点を養う授業である。受講生自らが日本語使用を観察し、考え、分析できるようになることを目標とする。この授業の標準的な1コマあたりの授業外学修時間は、180分とする。							
教科書・参考書							
<p>教科書：石黒圭（2013）『日本語は「空気」が決める 社会言語学入門』光文社新書          参考書：適宜紹介する。          指定図書：石黒圭（2013）『日本語は「空気」が決める 社会言語学入門』光文社新書</p>							
授業外における学修及び学生に期待すること							
授業は学生の考え、意見を中心に進めます。授業を聞いて、気づいたこと、考えたこと、調べたことを発言し、積極的に参加することを期待します。							

回	テ ー マ	授 業 の 内 容	予 習 ・ 復 習
1	オリエンテーション 導入	本授業の目標、評価、授業の進め方の説明をする。社会言語学の基礎について概観する。	理論言語学と社会言語学のちがひ、言語教育との関係（復習）
2	社会言語学とは何か	社会言語学の基本用語を学ぶ	社会言語学に関わる基本用語を復習する
3	地域に根差した言葉	地域方言と社会方言 方言の否定・誇りについて学ぶ	学んだトピックについての考えをまとめる（復習）
4	話し手に根差した言葉	日本語の場と場面、役割語、待遇表現について学ぶ。	学んだトピックについての考えをまとめる（復習）
5	日本語の人称表現	日本語の人称表現について学ぶ。	学んだトピックについての考えをまとめる（復習）
6	言葉と文化	バイリンガリズムとマルチリンガリズム、コードスイッチングとコードミキシング、トランスランゲージングについて、日本語を例に学ぶ。	学んだトピックについての考えをまとめる（復習）
6	言葉の変化	言語相対論、言語特徴、政治的公正性について学ぶ	学んだトピックについての考えをまとめる（復習）
7	言葉と実践	世代と変化、時代と変化、地理と変化、言語の死について学ぶ。	学んだトピックについての考えをまとめる（復習）
8	言葉と政治（1）	国語と共通語と標準語、言語政策、多言語主義と複言語主義について学ぶ。	学んだトピックについての考えをまとめる（復習）
9	言葉と政治（2）	ヨーロッパ言語共通参照枠、コミュニケーション能力のついて学ぶ	学んだトピックについての考えをまとめる（復習）
10	言葉と実践（1）	伝えにくい日本語とはなにか、言語景観を基に考えていく。	予習：ハンドアウトを読む 復習：内容の要約
11	言葉と実践（2）	多文化共生社会における論点として「やさしい日本語」について知り、自らの「日本語」を再考する	予習：ハンドアウトを読む 復習：内容の要約
12	言葉と社会（1）	ここまで学んできたトピックの中から興味のあるテーマを選び、使用観察・分析を試みる	フォーラム活動の準備
13	言葉と社会（2）	これまでのトピックについて、身近な課題を発見し考える（フォーラム活動）	学んだトピックについての考えをまとめる（復習）
14	言葉と社会（3）	これまでのトピックについて、身近な課題を発見し考える（フォーラム活動）	学んだトピックについての考えをまとめる（復習）
15	まとめ	今学期の学びを総括し、レポートとしてまとめる準備をする。	レポート提出準備

授業科目(ナンバリング)	日本語コミュニケーションB(CB112)			担当教員	諸石 慈		
展開方法	講義	単位数	2 単位	開講年次・時期	1 年・後期	必修・選択	選択
授業のねらい							アクティブ・ラーニングの類型
この授業は留学生対象です。活動を通して、異文化理解を深めながら、身近な話題（主に自分自身、自分の身近な人や事柄）でよく使われることばや表現を理解できるようになります。また、トピックに関連した短い文章を読むことで文章中の文型や表現の理解ができ、さらに様々な場面で表現できるようになります。A2～B1 レベル（JF 日本語教育スタンダード）のコミュニケーションができるようになることを目指します。							①②③⑨
ホスピタリティを構成する能力	学生の授業における到達目標				評価手段・方法		評価比率
専門力							
情報収集、分析力							
コミュニケーション力	よく使われる文型やことばや表現が理解できる。 クラスメートとのやりとりを通して、自分の意見を述べるができる。				確認テスト 授業への参加度		50% 20%
協働・課題解決力							
多様性理解力	Can-do の達成に必要なことばや表現を正確に理解することができる。 身近な物事について、自国と他国の文化や自分自身とを比較し、あらゆる面での多様性について理解することができる。				小テスト 活動		20% 10%
出 席					受験要件		
合 計					100%		
評価基準及び評価手段・方法の補足説明							
評価は、活動 10%、小テスト 20%、授業への参加度 20%、確認テスト 50%です。 小テストは採点し返却します。 次回の授業の課題や予習内容の指示は、ポートフォリオを通して行います。							
授業の概要							
この授業では、各課で使う文字とある程度まとまった表現の練習をします。そして、関連した短い文章を読んで、文章中の文型や表現を多様な場面で表現できるように練習します。小テストがあります。 この授業の標準的な 1 コマあたりの授業外学修時間は、180 分とします。							
教科書・参考書							
教科書：『まるごと 日本のことばと文化 初級 2A2 りかい』三修社、国際交流基金 編著 『まるごと 日本のことばと文化 初中級 A2/B1』三修社、国際交流基金 編著 参考書：WEB 資料 <a href="https://www.marugoto.org/download/">https://www.marugoto.org/download/</a> 指定図書：『まるごと 日本のことばと文化 初級 2A2 りかい』三修社、国際交流基金 編著 『まるごと 日本のことばと文化 初中級 A2/B1』三修社、国際交流基金 編著							
授業外における学修及び学生に期待すること							
授業が終わった後、再度復習してください。 わからないことはそのままにしないで、自分で調べたり、先生に質問したりしてください。 やむを得ず欠席する/した場合は、授業前/後に連絡してください。							

回	テ ー マ	授 業 の 内 容	予 習 ・ 復 習
1	オリエンテーション	授業の流れ、評価方法について説明	予習) シラバスを読む 復習) 教科書を確認する
2	Tp1 スポーツの試合	小テスト、よんでわかる 1 スポーツの試合に関する言葉を学び、文章 1 を読みます。	予習) Tp1 ことばリスト 復習) p. 30-31
3	Tp1 スポーツの試合	よんでわかる 2 スポーツの試合に関する文型を学び、文章 2 を読みます。母国での試合観戦について話し、書きます。	予習) 母国での試合観戦の方法について調べる 復習) Tp1 ことば, 文型
4	Tp2 家をさがす	小テスト、よんでわかる 1 家をさがす時に必要な言葉を学び、文章 1 を読みます。	予習) L2 ことばリスト 復習) p. 40-41
5	Tp2 家をさがす	よんでわかる 2 家をさがす時に役立つ文型を学び、文章 2 を読みます。母国での家の探し方について話し、書きます。	予習) 母国での家の探し方について調べる 復習) ことば, 文型
6	Tp3 ほっとする食べ物	小テスト、よんでわかる 1 食べ物に関する言葉を学び、文章 1 を読みます。	予習) L3 ことばリスト 復習) p. 50-51
7	Tp3 ほっとする食べ物	よんでわかる 2 食べ物について表現するための文型を学び、文章 2 を読みます。ほっとする食べ物について話し、書きます。	予習) 母国の家庭料理について調べる 復習) ことば, 文型
8	Tp4 訪問	小テスト、よんでわかる 1 家を訪問する時に必要な言葉を学び、文章 1 を読みます。	予習) Tp4 ことばリスト 復習) p. 60-61
9	Tp4 訪問	よんでわかる 2 家を訪問する時に役立つ文型を学び、文章 2 を読みます。母国での訪問時について話し、書きます。	予習) 母国での訪問マナーについて調べる 復習) ことば, 文型
10	Tp5 ことばを学ぶ楽しみ	小テスト、よんでわかる 1 外国語を学ぶ目的と方法に関する言葉を学び、文章 1 を読みます。	予習) Tp5 ことばリスト 復習) p. 70-71
11	Tp5 ことばを学ぶ楽しみ	よんでわかる 2 外国語を学ぶ目的と方法について表現するための文型を学び、文章 2 を読みます。自分自身の学習経験に基づいて話し、書きます。	予習) 学習動機, 目的を振り返り考える 復習) ことば, 文型
12	Tp6 結婚	小テスト、よんでわかる 1 結婚に関する言葉を学び、文章 1 を読みます。	予習) Tp6 ことばリスト 復習) p. 82-83
13	Tp6 結婚	よんでわかる 2 結婚の価値観について表現するための文型を学び、文章 2 を読みます。価値観について話し、書きます。	予習) 母国の結婚に対する価値観について調べる 復習) ことば, 文型
14	Tp7 旅行中のトラブル	小テスト、よんでわかる 1 旅行中のトラブルに関する言葉を学び、文章 1 を読みます。	予習) Tp7 ことばリスト 復習) p. 92-93
15	Tp7 旅行中のトラブル	よんでわかる 2 トラブル時に役立つ文型を学び、文章 2 を読みます。経験したトラブルについて話し、書きます。	予習) 旅行中のトラブル時を振り返る 復習) ことば, 文型
16	確認テスト	総合的な範囲のテスト	予習) 第 2 回～第 15 回分 復習) 特になし